

日月新（にちげつあらた）

校長 武田 明子

保護者の皆様、お子様の進級、ご入学おめでとうございます。例年より少し遅い桜の開花とともに、令和6年度が始まりました。新しい学年の始まりは、なぜかわくわくした気持ちになります。4月5日（金）前期始業式では、希望に満ちた子供たちに会うことができました。2週間前の修了式で集まったときと同じメンバーですが、子供たちは皆1学年ずつ上の学年に進級し、嬉しそうに顔を輝かせていました。



子供たちには、「日月新（にちげつあらた）」という言葉伝えました。「すべてが新しくなる。大人は子供たちのように背が伸びて成長することはないけれど、心だけはいつも新鮮でありたい。」と多少私の解釈を加えて説明しました。いつも新しい気持ちを忘れずに、いろいろなことにチャレンジしようというのは、私自身の決意ですが、子供たちも今年度初日の新しい気持ちを大事にして過ごしてほしいと願っています。新しい教職員も着任し、1年生が入学して全校児童133名、大巖寺小学校のよさを生かして充実した1年にしていきたいと思います。今年度も皆様の温かいご支援ご協力をお願いいたします。

合言葉は、「だいすき友達」 夢と 思いやりのある子
「がんばる運動」 健やかで 元気な子
「じぶんから勉強」 自ら考え 進んで学ぶ子

夢をもって未来を切り拓いていく子供になれるように、安全安心に通えるように、笑顔と歌声があふれる学校であるように、自立した学習者に育っていくように…。子供たちのためにやってあげたいと思うことを挙げたらきりがありませんが、日々を大切に、着実に教育活動を進めていきます。お気付きのことがありましたら、遠慮せず学校にお知らせください。

入学式では、やる気いっぱい目をきらきら輝かせている1年生と二つ約束をしました。一つ目は「なかよし」です。「おはよう」「一緒に遊ぼう」「ありがとう」「ごめんね」友達と言葉を交わしながら、一緒にたくさんを経験して仲良しになってほしいと伝えました。二つ目は「お話を聞く」です。目と耳と心でしっかり話を聞いて、楽しく学習してほしいと思います。二つのことにチャレンジしてすてきな1年生になると、楽しい学校がもっと楽しくなるはずです。



<この花は何でしょう>

校庭で、黄色い花が咲いている木を見付けました。葉はよい香りがするので、料理に入れて使います。お店では乾燥させたものを売っています。花が咲いているのを初めて見たので、紹介しました。

これは、月桂樹です。子供たちがよく通る場所に植えられていますが、あまり気付いていないかもしれません。校庭のどこにあるか、探してみるのも楽しいですね。